

# 尾道市財政運営見通し

(R3年度～ R7年度)

令和3年8月

# 今後の財政推計

単位:億円

| 区 分             | ※R2   | R3    | R4    | R5    | R6    | R7    | 5カ年計    |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 歳入 A            | 782.7 | 634.7 | 609.2 | 611.0 | 598.8 | 613.9 | 3,067.6 |
| 市税              | 179.4 | 171.5 | 171.2 | 171.8 | 168.1 | 169.0 | 851.6   |
| 交付税             | 149.0 | 158.8 | 153.3 | 149.6 | 149.6 | 150.0 | 761.3   |
| 市債              | 62.9  | 60.3  | 50.9  | 51.5  | 45.3  | 56.0  | 264.0   |
| その他             | 391.4 | 244.1 | 233.8 | 238.1 | 235.8 | 238.9 | 1,190.7 |
| 歳出 B            | 773.4 | 634.7 | 609.8 | 611.9 | 606.8 | 620.2 | 3,083.4 |
| 義務的経費           | 310.7 | 315.3 | 311.1 | 315.6 | 314.6 | 314.7 | 1,571.3 |
| 人件費             | 102.1 | 103.3 | 95.7  | 97.2  | 96.3  | 96.3  | 488.8   |
| 扶助費             | 135.3 | 133.2 | 133.2 | 135.9 | 138.6 | 141.4 | 682.3   |
| 公債費             | 73.3  | 78.8  | 82.2  | 82.5  | 79.7  | 77.0  | 400.2   |
| 投資的経費           | 83.5  | 79.2  | 64.5  | 62.6  | 58.8  | 60.4  | 325.5   |
| その他             | 379.2 | 240.2 | 234.2 | 233.7 | 233.4 | 245.1 | 1,186.6 |
| 財源不足額(A-B)      | 9.3   | 0.0   | ▲ 0.6 | ▲ 0.9 | ▲ 8.0 | ▲ 6.3 | ▲ 15.8  |
| (参考 臨時財政対策債発行額) | 17.0  | 22.9  | 18.8  | 17.2  | 17.2  | 17.2  | 93.3    |

※R2年度決算見込を参考表示。(決算見込額には繰越すべき財源6.4億円を含む)

## 見通しについて

○復旧・復興から未来に向けたまちづくり

⇒ 平成30年7月豪雨災害や新型コロナウイルス感染症等をはじめとする、気候変動・災害等に備えたまちづくりを進めます。

○義務的経費(人件費、扶助費、公債費)

⇒ 正規職員数の適正化に努めているものの、令和2年度からの会計年度任用職員制度導入等から、人件費は令和3年まで増加し、令和5年度以降は定年延長により減少の見込みです。

また、扶助費は微増しますが、新市建設事業や臨時財政対策債の一次的な増発に伴い、令和5年度にピークを迎える公債費は令和6年度以降減少するため、義務的経費は全体として310億円程度で推移の見通しです。

○投資的経費の抑制

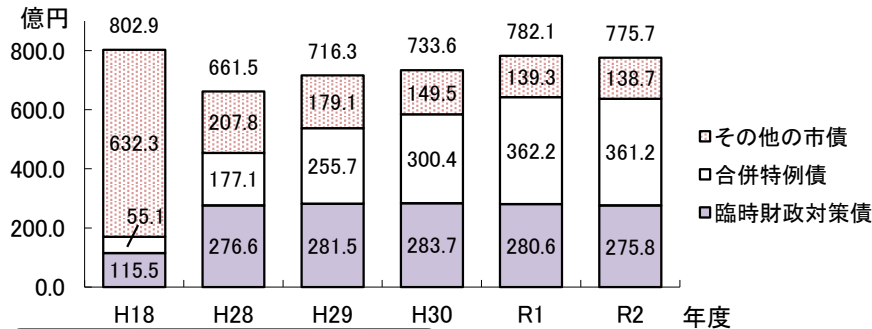
⇒ 大型建設事業や平成30年7月豪雨の災害復旧事業等により、令和元年度にピークを迎えた投資的経費は、令和3年度以降は抑制される見通しです。

○交付税の減

⇒ 令和2年の国勢調査人口の反映に伴い、令和3年度以降、微減の見込みです。

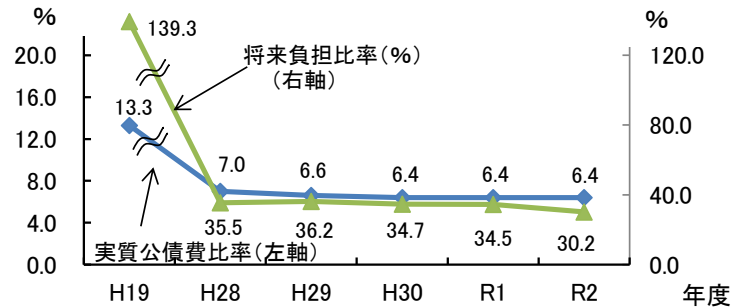
# これまでの行財政改革の取組

## 市債残高の推移

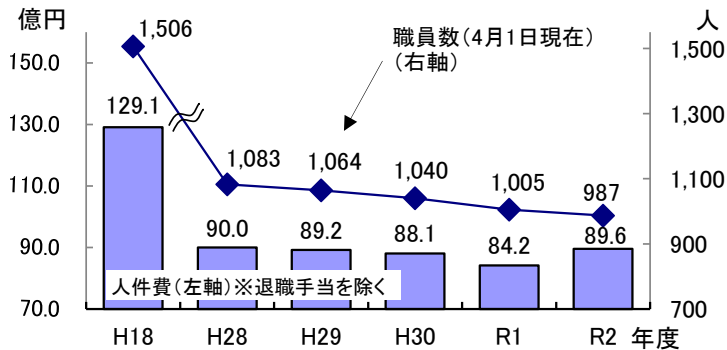


## 財政関係指標

※財政健全化法関係指標実施は19年度から  
 ※R2年度は決算見込数値

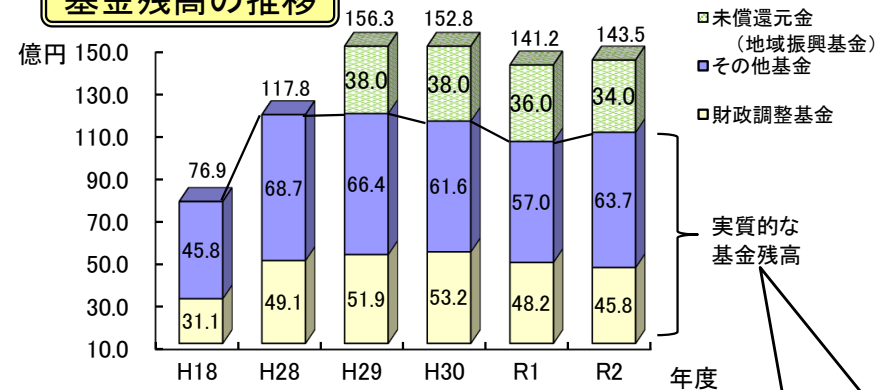


## 職員数及び人件費の推移



※ R2年度の人件費には会計年度任用職員分を含みます(職員数は正規職員のみ)。

## 基金残高の推移



## これまでの行財政改革の取組内容

- ・市債借入の抑制による公債費の削減
- ・建設事業の抑制による投資的経費の削減
- ・職員数の適正化による人件費の削減
- ・事務事業の見直し等による歳出の抑制 等々

## 取組の成果・課題

- 市債残高のうち、交付税措置率の低い市債残高(その他の市債を含む)の縮減
- 財政指標の維持・改善
- 基金残高確保に向けた予算規模の適正化 等々

地域振興基金は、市債である合併特例債を活用し積み立てて、その償還が終わったものから、新市建設計画に位置付けられた事業に使うことができます。基金ですが、償還が必要な市債であることから、実質的な基金残高から除いています。

# 安定した財政運営を行うために

## 今後の取組

### ① 経常的経費の見直しと歳入確保

- ・経常経費については、職員数の適正化や、調達方法の見直しによる公債費の抑制に引き続き努めるなど、義務的経費総額の抑制に努めます。
- ・ICT等先端技術や民間活力の活用等、業務効率化を図り、経費の節減に努めます。
- ・行政サービスと受益者負担のあり方を見直し、使用料の改定など歳入確保に努めます。

### ② 公共事業の見直しや施設管理の適正化

- ・時代のニーズに対応した事務事業の見直しに努めながら、新型コロナウイルス感染症や頻発する自然災害への対応を図ります。
- ・少子高齢化・人口減少等の地域課題や、「新しい生活様式」等の変革に対応するスマートシティを推進し、地方創生に向けた施策展開を図ります。
- ・総合計画や公共施設等総合管理計画との調和を図りながら、長期的な視点に立った公共施設の適正な維持管理に努めます。

①及び②の着実な実施や歳入に見合った予算規模とすることにより、持続可能で安定した行財政運営を行います。

